

1. 目的. ブラッシングには、髪の流れを整える、頭皮を刺激して血行をよくするなどの効用があるが、ブラッシングをすることによって、毛髪が損傷を受けることを前回に報告した。そこで今回は、ブラッシングによる、毛髪の損傷を少なくする方法について検討し、併せてブラッシングの仕方について考察した。

2. 方法. 20才女性のバージンヘアを用いて、1)シャンプー処理、2)リンス処理、3)トリートメント処理、4)コンディショナー処理、5)ヘアクリーム処理、をそれぞれ行なった後、獣毛ブラシで1000回ブラッシングし、この処理及び、ブラッシングの操作をくり返して毛髪の損傷程度を評価した。

3. 結果. いずれの処理に於いても、処理-ブラッシング回数が多くなる程毛髪は損傷するが、損傷程度はシャンプー処理が最も大きく、次いでリンス処理であった。トリートメント処理、コンディショナー処理、及びヘアクリーム処理による毛髪の損傷は同程度で最も小さかった。これは、毛髪に付着した油分が、毛髪とブラシとの摩擦抵抗を弱め、ブラッシング力を小さくするためと考えられる。

又、ブラシの種類やブラッシング速度によっても、毛髪の損傷程度が異なるので、ブラッシングは、植え込みの少ないブラシを用いて、毛先をとかしてもつれをなくしてからトリートメントしたり、ヘアクリームなどを髪に付けておくことが、ブラッシングによる毛髪の損傷を小さくすると考えられる。